

『あなたが私とともに！』詩篇23篇1～4節 2016.11.20(聖日礼拝説教より)

『たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。』詩篇 23:4
◆「主が羊飼いなので、乏しく・恐ろしい荒野の旅路も守られ、憩いと安心！」とはダビデの実感だった！肉眼では見えない羊飼いなる神の御声を聴き、御胸に抱かれ、愛の温もりを感じるように歩む！これが神の子らの実感…のはず！羊飼いに導かれる羊には3つの実感がある。

①**死から命への実感**！「生き返らせ(3節)」とは「死んでいた」の意。私たちは『自分の罪過と罪の中に死んでいる(エペソ2:1)』！信仰がなくても、ちゃんと生きていると思うが、その人は、創り主なる神との愛の交わりは断絶し、「自分の肉の欲に生き、心の望むままを行い、神の怒りを受けるべき(エペソ 2:2)」存在であり、やがて罪の道づれとなり、永遠の滅びに向かう！しかし憐れみ豊かな羊飼いが私たちの名を呼び、捜し出し、連れ戻してくださる！故柳十三子姉は、かつては娘の受洗に親子の縁を切るほど猛反対しつつも、聖書に触れ、実兄の死に際に不思議な出来事…等々を通して滅びから命へ導かれた！

②**正しい道へ導かれている実感**！『御名のために(4節)』とは、羊飼いの責任において、羊飼い自身のために(イザヤ 43:25)！の意。天地創造の時、神は私たちをご覧になり「非常に良かった(創世 1:31)」と大絶賛！そんな愛する者が神を離れ、罪に汚れて滅びるのを黙って見過ごせる訳がない。『見つけるまで捜される(ルカ 15:4)』！『義の道』とは、羊飼いなるイエス様が、羊を追って辿り、仲間の待つ場所に間違いなく戻るために「踏まれた道」。たとえ人生の道に迷っても、主の名を呼ぶ者は、見出され、抱かれ戻り、安心と安全を実感する！

③**逆転の人生の実感**！『あなたが私とともにおられる』…ここで詩人は初めて神を「あなた」と呼ぶ！「わたしはあなたとともにいる」と主からの声を聞くことは素晴らしいが、『あなたが私とともにおられる』との臨在信仰の告白は、全ての苦難を逆転する。『死の陰の谷…災いをも恐れない』と！『死の陰』とは『暗黒』！先の見えない不安、誰の助けのない孤独、死の淵に立たされる恐れ…の中で、主が守り、安全な所へ導き、癒しと慰めを与えてくださる！という実感を味わう！★今週、主からいただける3つの実感に生きるために必要な信仰告白は何？